

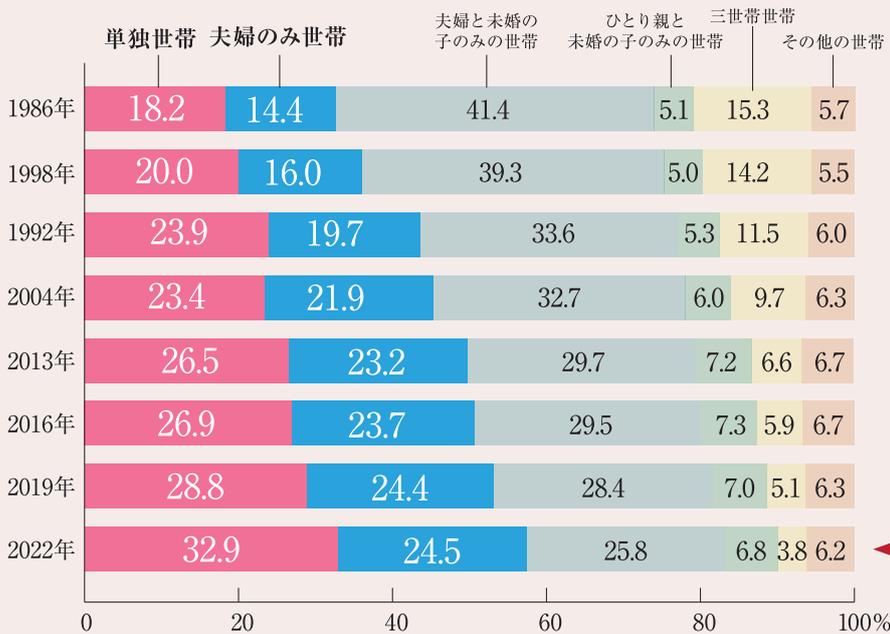
ますます高まる 「コンパクトレジデンス」のニーズ。

「コンパクトレジデンスに住む」という選択が増えています。

TREND

暮らしの多様化が進み、**単身世帯・2人世帯が増加**。
全世帯の半分以上に!

厚生労働省による「国民生活基礎調査」によると、世帯人員の構成割合では3人世帯がほぼ横ばいで、4人以上の世帯が減少する中、単身世帯と2人世帯の数が大きく増加しており、この2つを合わせると半数以上となっています。岡山県の平均世帯人員でも2.58人と3人を切っており、単身世帯、2人世帯の多さが浮き彫りとなっています。



岡山県における
平均世帯数は

2.58人

約**57.4%**が
単身・2人世帯です

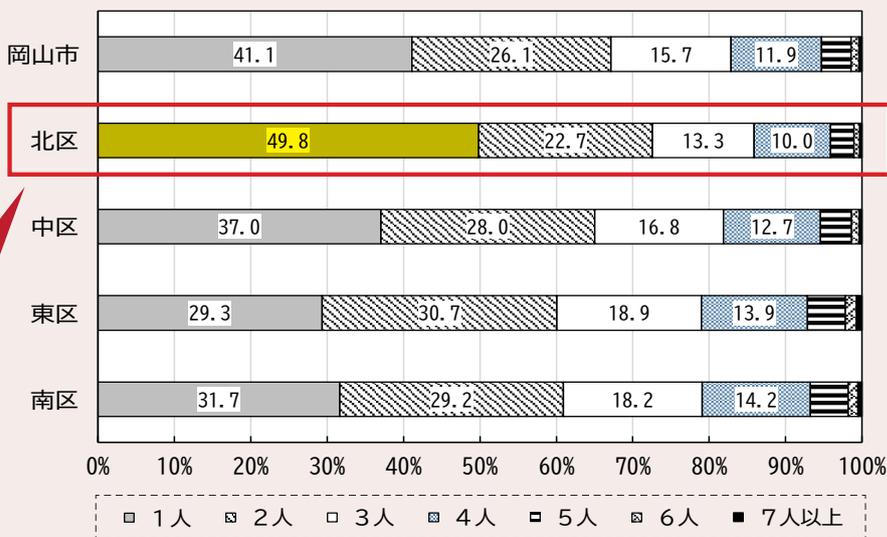
OKAYAMA DATA

岡山市の中でも
最も単身世帯が多い北区。

岡山市の中でも北区はよりこの傾向が強くなり、他の区と比較しても圧倒的に単身世帯が多くなっており、ほぼ半数を占めています。これは都心部に勤務する若年サラリーマンやOLが多いことを表しています。

北区だけだと約**72.5%**が
単身・2人世帯です

■行政区、世帯人員別世一般世帯数の割合 -岡山、行政区(令和2年)



出典：岡山市「令和2年度国勢調査」より

結論!

高まる**単身者・2人世帯**のニーズに対して、
2000年以降の過去24年間で201棟の供給。

その内コンパクトレジデンスのみの物件は1棟のみ。

コンパクトレジデンスは今後の需要が高く資産価値向上にも期待できます!

※2000年以降の「24年間」で「201棟」(本件を除く)の供給で、そのうちコンパクトレジデンス(平均面積50㎡未満)は「1棟」のみ。
(2024年10月現在:株式会社新東通信調べ)